

【取組内容①】 「方法選択型探究学習『IndiviFLIS』で個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を図る授業実践」

教材, 学習形態, 学習ペース, 表現, 対話を
 子供に委ねる『方法選択型探求学習』
IndiviFLIS (インディビフリス)
 Individual Freedom Learning Iwanuma-Sho

先進校の取組の一部を抽出
 「子供を主語にする授業」




『IndiviFLIS』の解釈

子供を主語にする授業

方法選択型 **探究学習**

↓ ↓

複数の教材・形態・ペースから
自分に合ったものを選択する
 教材
 教科書, web検索, 動画, 図書資料

学習形態
 一人で, ペアで, 小グループで, 他者参照

個別最適な学び

自分で知識を獲得し, **自分なりに**
 まとめ, **自分の言葉**で表現する
 集約(個人, 共同編集)
 ノート, ノートアプリ, Jamboard

言語化
 活動中の対話, 一斉対話, 解説動画

協働的な学び

岩沼小学校では、子供が主語となる指導を「方法選択型探究学習」とし、これを職員・児童が馴染みを持つよう『IndiviFLIS (インディビフリス)』と呼称している。児童にもこの学習スタイルの趣旨を説明し、イメージの共有を図った。児童はこの授業を「インディビ学習」という愛称で親しみを持っている。

「方法選択型」とは、教科書・web検索・動画等の複数の教材、個人・ペア・グループなどの学習形態、学習ペース、情報集約方法など、自分に適したものを選択し、自己調整しながら学びを進めること。「探究」とは、ただ調べるだけではなく、獲得した知識を自分なりに整理・分析し、それを言語化して他者に表現するまでと解釈している。『IndiviFLIS』では、アウトプットすることを大切にしています。